

＜指導上のポイント＞

この種の問題を紙の上だけで学習するのは、全く効果がないとは言いませんが、かなり無理があります。いくら問題をこなしても、効果が上がらない場合が多いのです。特に、一生役立つ本物の図形分解能力を育てるには、マグ・プレートのような図形教具などでたっぷりと遊ぶことが必要になってきます。知性を構成する主要な能力である図形能力は、構成把握能力ともつながっていますので、数の理解や加減計算能力を左右するだけでなく、数能力全般、さらには言語能力や性格（社会性）にも影響を及ぼすことになります。

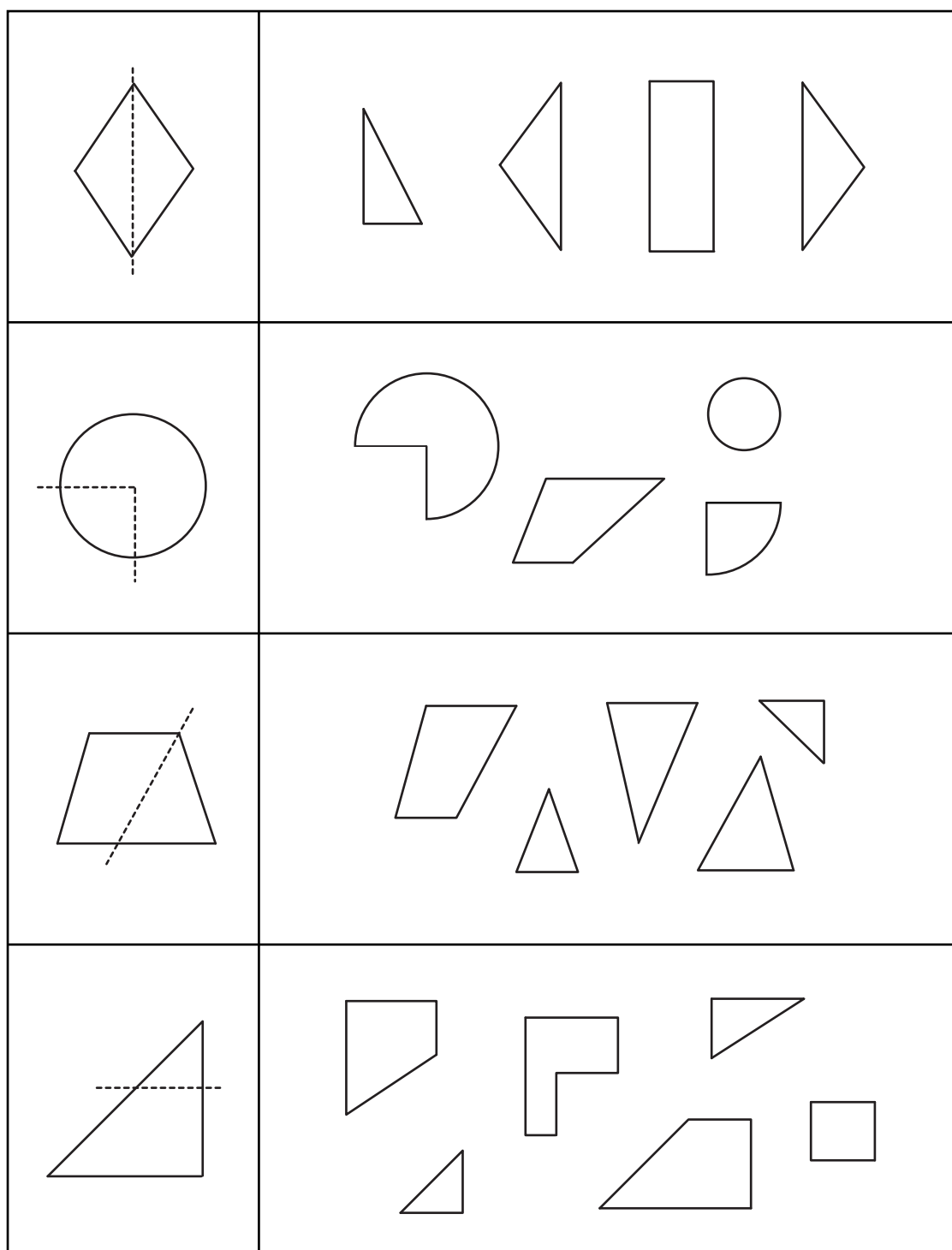
図形能力も他の能力と同じように、後天的に育つ知性（能力）ですので、ほおっておいて育つことはありません。この能力は思考力の基本ですので、その能力の有無が学校成績を左右することになります。「図形の得意な子供は、高学年になると成績が伸びる」といわれる所以です。

図形の名前を教えるときは、まる・さんかく・しかくだけではなく、なるべく円・三角形・四角形という正しい名称も教えるようにしてください。さらに、まるの仲間として、円・半円・扇形、さんかくの仲間として、直角三角形・二等辺三角形・直角二等辺三角形・正三角形、しかくの仲間として、台形・平行四辺形・ひし形・長方形・正方形があることを、可能な限り早く学ばせてほしいものです。早く正しい名前を覚えておけば、現実の中で何度もその知識を利用することができ、図形能力として定着する度合いが高くなります。

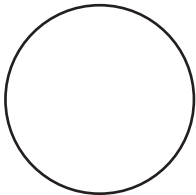
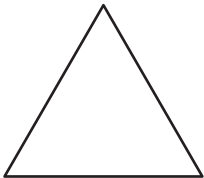
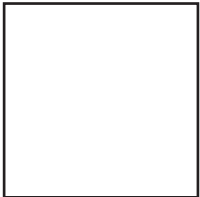
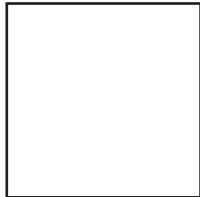
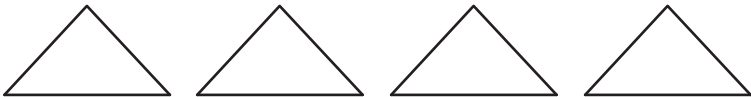
● 問題を指導する際の注意点

さて、この問題を指導するときの一番よくない方法は、補助線を引いて説明する方法です。実際に補助線を引くのではなく、頭の中で補助線を引いて、分解合成させて考える能力を育ててください。図形の合成・分解の能力の育成は、ピグマリオンの知育玩具「マグ・プレート」のような教具類を使ってください。適当なものを購入されて、楽しく遊びながら、自然に必要な能力を身に着けさせてください。

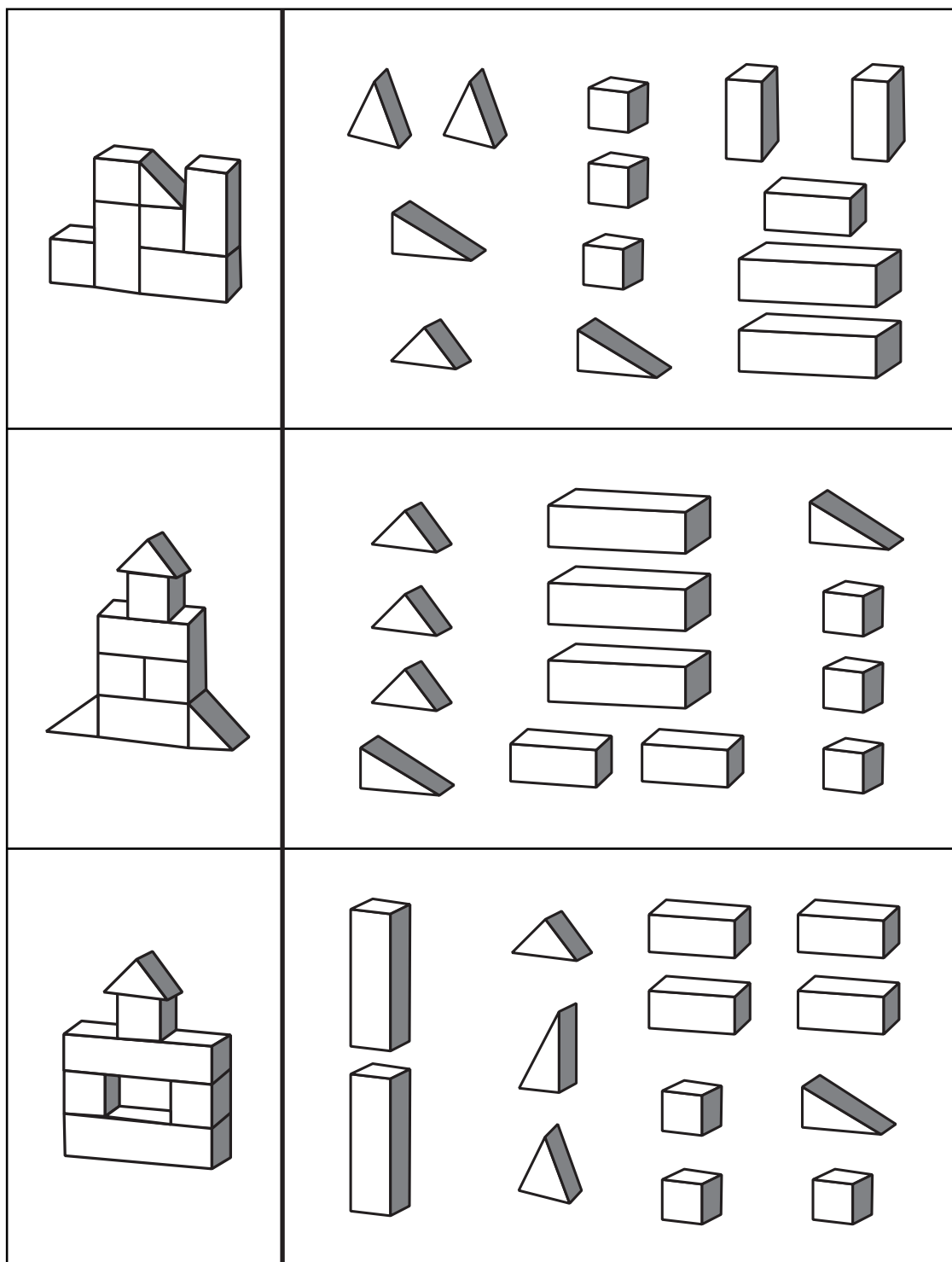
<例題 1> 左端の形を点線のところで切ると、右側のどの形になりますか？ 2つ見つけて、○をつけましょう。



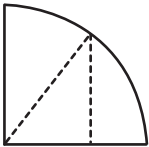
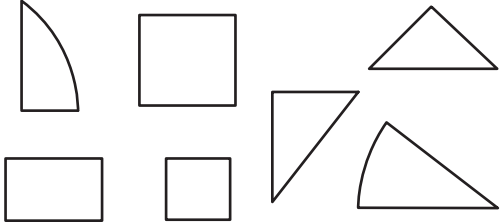
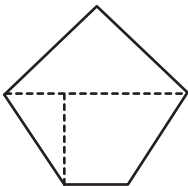
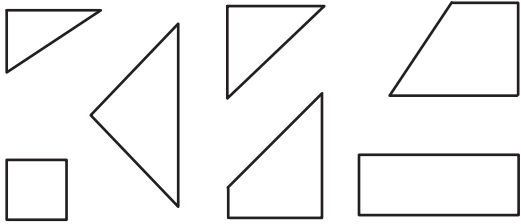
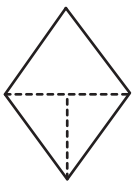
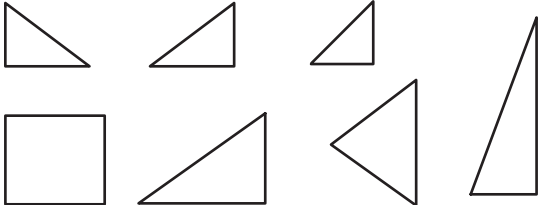
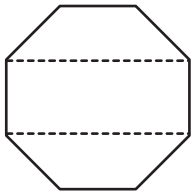
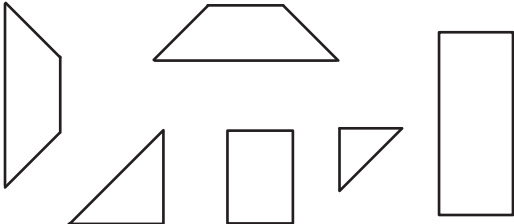
<例題 6 > 左端の形をどのように分けると、右の形になりますか？左端の形に線を描いて、右の形になるように分けてください。

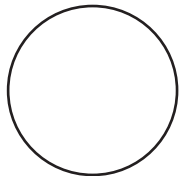
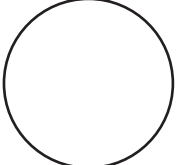
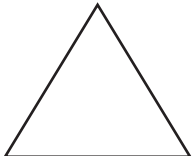
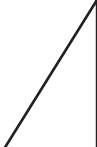
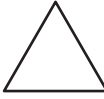
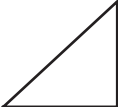
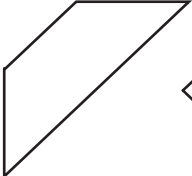
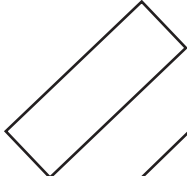
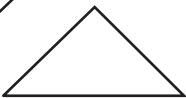
＜問題11＞ 左端の形を作るには、右のどの積み木が必要ですか？
必要なだけ見つけて○をつけなさい。



<例題 1>の類題⑤ 左端の形を点線のところで切ると、右側のどの形になりますか？分かれた数だけ形を見つけて、○をつけましょう。

<例題 2 >の類題⑤ 左端の形を作るには、右側のどの形を使えばよいでしょうか？必要なだけ見つけて、○をつけましょう。

<例題11>の類題① 左端の形を作るには、右のどの積み木が必要ですか？見つけて、○をつけましょう。

